

## 弁護士が語る！経営者が知っておきたい法律の話(第124回)

### 中小M&Aの動向と特徴・留意点

2025.02.28



M&Aとは、「Mergers(合併)and Acquisitions(買収)」の略称です。合併だけでなく、株式の大半を取得する株式譲渡や、会社の一部門を買収する事業譲渡を含む事業の引き継ぎ全般をさします。

M&Aは大企業が行うものと思われがちですが、近年は中小企業でも注目され、増加傾向にあります。M&Aを通じて、中小企業(売り手)の事業を社外の第三者である後継者(買い手)が引き継げば、事業の継続性を確保できます。

多くの中小企業にとってM&Aはなじみの薄い手段でした。背景には、売り手側の経営者はM&Aに対して「後ろめたい」「従業員に申し訳ない」といった感情を抱く場合があります。一方で、買い手側には敵対的買収を行う「ハゲタカ」のようなイメージがあり、必ずしもビジネスライクには考えられませんでした。

しかし、売り手側の経営者は、M&Aを通じて事業を社外の第三者に譲渡すれば、大切に経営してきた会社を存続できます。また、従業員の働く場が残り、雇用の受け皿を守れるというメリットもあります。

買い手側にとっては、他社が時間をかけて築き上げた事業を譲り受けることで、リスクを減らしながら合理的に事業を拡大できるというメリットがあります。双方にメリットがありますから、検討しない理由はないでしょう。

本稿では近年のこうした変化を踏まえ、最近の中小企業におけるM&A(以下、中小M&A)の動向と特徴、留意点について見ていきます。

中小M&Aの動向… 続きを読む